

# 釜ヶ崎解放 6/28

# 釜ヶ崎日雇労組

でんわ(632)4273

昨日、鴻池組・横内工業・本組興業と大衆団交し、

## 労災金ネコババもみ消し事件争議に

# 全面勝利！謝罪をからとる！

仲岡たち〆昨日、ひるごころから市民館で、労災金ネコババもみ消し事件についての大家団交を交さない、鴻池組(元請)・横内工業(下請)・本組興業(人夫出し)の全面謝罪をからとり、争議に完全に勝利した。

昨日の国交は、6月25日(土)の国交での事実確認にもとづいて、主に、横内工業の労災休業補償金のネコババと十二月からの休業補償請求のもみ消し、本組興業の被害者への飼い殺しと、本年の月からの「念書」を書かせてのもみ消しについての追及、事実確認を交わった。

事実確認の中で、まず横内工業は七月下旬から八月下旬までの休業補償は、本組に支払い、八月下旬から十一月までの分は、本人名義の通帳から引き出してネコババし、十二月から1/月分は、労基署への請求行為すら行わず、さらに「本人の労災は終わった」とう

りの報告を元請にしていた事実を認めた。本組興業は、横内から受けとった八月下旬までの休業補償金を本人に通知せず、わずか二千円の貸金で飼い殺し、横内の休業補償のネコババにうすうす気付いて労災の打ち切りをまくろみ、念書を作成した。

さらに、強制労働をしいて貸金の回収をばかり、五月十日には念書に署名、押印させて、貸金の打ち切りとアブし金不正受給による生活の捻出を強要した事実を認めた。そして、三社の全面謝罪と鴻池組が責任をもって本人の労災が完治するまでの補償をおこなうことを確約させた。

仲岡たち〆今回の争議の意義は、事実の隠ぺい、屈直りをはかった本組興業に、わたしのピーターを軸にした大衆的な実力で、の斗いによって、もみ消し、強制労働の事実を認めさせ、横内のネコババの事実を明らかにさせ、さらに鴻池組に元請責任をなすりつけ、認めさせたことにある。泣きね入りせず、団結して闘って(一)〆

